

## 2017年度「研修会報告」No.1 (4月～6月)

### ◆「研修会」計画

回	開催日	講師	テーマ	参加者
1	5月17日(水)	村松通久さん	海外事情(タイ実践報告)+ランチ会	15名
2	6月24日(土)	井上敬子先生	間違いやすい助詞の使い分け	14名
3	10月14日(土)	長阪たか子さん	オノマトペについて	

### ◆ 研修会報告 ◆

#### (1) 第1回研修会：5月17日(水)

10:00 ~ 11:30



タイの大学で教えている村松通久さんの一時帰国にあわせ、昨年に引き続き、タイ事情を話していただくことになりました。

初めにタイの大学の制度、学生選抜の方式、時間割などについて説明がありました。そして今年度担当しているクラスの講義計画や学生の様子などに話しが進みました。

日本語専攻の学生を一人で担当しているそうです。大学のシステムが日本と大きく異なっていること、また相談する教員がないことなど、苦勞が絶えないようです。日常生活面でも日本との違いは大きいようです。それでも、「クラスの学生が熱心で、学生と接していると楽しいから頑張れる」とのことでした。遠い地で奮闘する村松さんに、参加者から多くのエールが送られました。

研修会後は、近く中華料理店に会場を移してランチ会です。2つのテーブルに分かれ、それぞれに話がはずみました。ひょっとして、研修会以上に盛り上がっていたかも？

次に、参加者の声を紹介します。

飯久保さんが長文の感想を寄せてくださいました。飯久保さんは、昨年、中国の大学で1年間教える経験をされました。

## 海外事情－タイ実践報告の感想

飯久保博幸

タイ バンコクの大学で日本語を教えている村松さんの報告会がありました。それは、山梨日本語ボランティアの会での「海外事情－タイ実践報告」と題した研修会でした。

タイの環境、生活、習慣、考え方で、おかしいなあ、違うなあということが多くあったそうです。

一例として、「遅刻」 8時始業なのに1時間以上も遅れてくる。時間前に集まる、時間で始める習慣に乏しい学生とのたたかい？

このことを習慣づけることにより、苦労されたようです。

今が楽しめればいいという学生に将来の計画を描かせたり、日本語を多く話させたり、考えさせたりする授業の工夫も語ってくれました。

3年目の今年、日本語のレベルを高くしたいという村松さんの熱意に励まされました。

「みんなの日本語」や「まるごと日本のことばと文化」をテキストに、また、日本語能力検定試験合格をめざして、指導している村松さんに拍手を送りたいです。

私も、中国大学生に1年間、中国の地で日本語を教えてきた経験から、異郷の地でしかも一人しかいない日本人日本語教師の奮闘ぶりは、日本で日本語を教える以上の難しさを感じます。

それだけに、熱意に答えてくれる学生の笑顔は何よりもうれしいものです。

2017年7月17日から、新学期だそうです。

山梨での一時帰休が村松さんにとってリフレッシュの機会になりますように。元気な姿で、タイ バンコクでの実践を期待したいです。

### ★参加者の声より

- ・とても楽しく拝聴しました。
- ・有意義なお話でした。
- ・タイでの日本語指導の大変さが伝わりました。日本人としての日常生活とタイ人の日常生活の感覚は違うのでしょうか。異文化の中で、日本人教師として日本語の授業を行うのは、我々が日本の国で教えるのとは違うのだろうか～。
- ・村松さんの孤軍奮闘ぶりに感心しました。もうすこし頑張って、その大学の日本語コースの「顔」になってください。
- ・タイ（などの外国）での日本語教育の大変さが分かった。面白かったです。がっかりせずに頑張ってください。

### (2) 第2回研修会：6月24日（土） 13：30～16：00



講師は、昨年に引き続き、井上敬子先生にお願いしました。先生は山梨大学を初め多くの大学で留学生の授業を担当されています。また、各所で日本語教師養成講座の講師も務めておられます。

研修のテーマは「間違いやすい助詞の使い分け」です。

事前アンケートを通して、支援を通して困っている助詞の項目について、井上先生に見ていただきました。質問が多岐にわたっていたため、今回は質問の一番多かった「は」と「が」を中心に進めていただくことになりました。

品詞の基礎知識、助詞の全体像を眺めてから、本題に入りました。豊富な資料と分かりやすいご説明で、一同納得の笑顔。また、受講者の質問に対する答え方についてなど、多くの質問が飛び交いました。2時間半はあっという間に過ぎて、もっと学びたいという声が多く出ました。

\* お知らせ \* 参加者の声を受け、「助詞 第2弾」の開催について、井上先生より内諾を得ました。実施は来年度になります。お楽しみに！

## ★参加者の声より

- ・資料が多く、復習する時にも、大いに役立つと思います。紹介されたテキストが良さそうなので、使ってみたいと思います。
- ・パワーポイントの内容がコピーされているので、説明を落ち着いて聞くことができました。
- ・参加者が多くて話し合いも弾みとても良かった。
- ・自分の説明のしかたを振り返る機会となりました。受講者の質問にどう答えると良いか、改めて考えなおしています。
- ・忘れていたことを思い出したり確認したりすることができた。日本語ネイティブとして、無意識に使い分けしている助詞について学問的な面から学び直すことができ、「これを使い分けしているって、すごいことだな～」と思った。
- ・何気なく使い分けしている助詞だが、こんなに種類がたくさんあることに改めて気づいた。また、例文の作り方の重要性も感じた。
- ・参加者の支援経験はさまざまだが、どのレベルの人にも役に立つ内容だった。自分にとっても、知識を再確認する場となったし、発見もあった。例えば、「消える助詞＊」は初めて知った。

\* 報告者注：配布資料から一部引用

助詞「は」「が」「を」はほかの助詞のうしろにつけると消えてなくなる。この3つ以外の助詞はほかの助詞をつけてもそのまま残る。例 ○雨がが降っています。×雨がも吹いています。



(写真：小林、報告：稲谷)